

令和 7 (2025)年度

熊本学園大学 大学院

学生募集要項

商学・経済学研究科

国際文化研究科

社会福祉学研究科

目

次

1. 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）	修士課程	1
	博士課程	2
2. 開設科目一覧		3
【共通事項】		
1. 募集課程・募集人員及び修業年限		11
2. 入試日程・試験会場		11
3. 出願期間		11
4. 試験科目		12
5. 入学検定料		12
6. 受験票の送付		14
7. 受験上の注意		14
8. 合格発表		14
9. 入学手続		14
10. 個別の出願資格審査について		15
11. しょうがい等がある方へ		15
12. 長期履修制度について		15
13. 納入金		16
【修士課程】		
一般入学試験（商学・経済学、社会福祉学）		17
外国人留学生入学試験（商学・経済学、社会福祉学）		19
一般・外国人留学生入学試験（国際文化）		21
社会人入学試験（全研究科）		24
社会人特別推薦入学試験（国際文化）		26
推薦入学試験（全研究科）		27
飛び級入学試験（商学・経済学）		29
【博士後期課程】		31

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

修士課程

商学・経済学研究科

<商学分野>

商学・経済学研究科商学分野では、次に示すような方を幅広く受け入れていく。

1. 商学に関する（大学）学部卒業程度の専門知識を有している方。
2. 指導教員の指導を受けながら、主体的に研究を遂行できる方。

<経済学分野>

商学・経済学研究科経済学分野では、次に示すような方を幅広く受け入れていく。

1. 経済学に関する（大学）学部卒業程度の専門知識を有している方。
2. 指導教員の指導を受けながら、主体的に研究を遂行できる方。

国際文化研究科

本学大学院国際文化研究科修士課程においては、日本文化・東アジア文化・欧米文化いずれかの専門領域での基礎的知識（学部卒業程度）と研究に必要な語学力とを有し、以下のことを成し遂げたいと考える方を受け入れます。

1. 該当文化圏の言語や文化についての領域で、更に深い見識を身につけ、自らの研究を進めたい方。
2. 該当文化圏の言語や文化についての領域で、自らの専門的研究成果をもって社会に貢献したい方。

なお、入学者選抜については、基礎的知識（学部卒業程度）を有しているかを確認するために筆記試験や書類審査を行い、上記1から2に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。

社会福祉学研究科

社会福祉学専攻

社会福祉学に関する基礎的知識（学部卒業程度）を有し、以下のいずれかに該当する方を受け入れます。

1. 大学において社会福祉学を学び、更に高度な専門的能力の修得を目指す方。
2. 社会福祉学領域における研究を活かし、自らの研究能力、職業能力を高めようとする方。
3. すでに社会福祉分野で職業人として活躍しながら更なる能力向上を目指す方。
4. 社会福祉以外の分野で職業人として活躍しており、社会福祉学を研究することにより、更に新たな職業領域を開拓しようとする方。
5. 社会における福祉や環境に関する諸課題に関心を有し、自らの力で課題解決に取り組む姿勢と意欲を持つ方。

福祉環境学専攻

社会福祉学または福祉環境学に関する基礎的知識（学部卒業程度）を有し、以下のいずれかに該当する方を受け入れます。

1. 大学において福祉環境学を学び、更に高度な専門的能力の修得を目指す方。
2. 福祉環境学領域における研究を活かし、自らの研究能力、職業能力を高めようとする方。
3. すでに職業人として活躍しており、福祉環境学を研究することにより、更に新たな職業領域を開拓しようとする方。
4. 国際社会における福祉や環境に関する諸課題に関心を有し、自らの力で課題解決に取り組む姿勢と意欲を持つ方。

博士後期課程

商学・経済学研究科

<商学分野>

商学・経済学研究科商学分野では、次に示すような方を幅広く受け入れていく。

1. 商学に関する修士課程修了程度の専門知識を有している方。
2. 指導教員の指導を受けながら、主体的に研究を遂行できる方。

<経済学分野>

商学・経済学研究科経済学分野では、次に示すような方を幅広く受け入れていく。

1. 経済学に関する修士課程修了程度の専門知識を有している方。
2. 指導教員の指導を受けながら、主体的に研究を遂行できる方。

国際文化研究科

本学大学院国際文化研究科博士後期課程においては、日本文化・東アジア文化・英米文化いずれかの専門領域で、特定の研究課題・研究方法についての知識（修士課程修了程度）と、高度な研究に必要な語学力を有し、以下のことを成し遂げたいと考える方を受け入れます。

1. 該当文化圏の言語や文化についての領域で、特定の研究課題を更に追及し、研究成果を博士論文にまとめたい方。
2. 該当文化圏の言語や文化についての領域で、独自性のある研究を行い、その成果をもって社会に貢献したい方。

なお、入学選抜については、博士後期課程における研究が滞りなく遂行できるかどうかを確認するために筆記試験や修士論文の審査を行い、上記1から2に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。

社会福祉学研究科

本学大学院社会福祉学研究科博士後期課程においては、入学前に社会福祉学に関する専門的学識を有し、以下のいずれかの高度で専門的な研究意欲のある方を受け入れます。

1. 社会福祉に関する研究を蓄積してきた方で、更に社会福祉学のより高度で専門性の高い調査方法や政策・理論を修得する意欲のある方。
2. 研究者として、社会福祉学の近接科目を専門としつつも、社会福祉学（社会政策・ソーシャルワーク）の高度で専門的研究に意欲のある方。
3. 専門職の職業人として地域社会に寄与しているが、更に社会福祉学に関する調査・研究を究めてより専門性の高い領域で地域社会に貢献したい方。

なお、入学選抜については、博士後期課程における研究が滞りなく遂行できるかどうかを確認するために筆記試験や修士論文の審査を行い、上記1から3に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。

2. 開設科目一覧

商学・経済学研究科商学・経済学専攻 修士課程 令和7（2025）年度開設科目一覧（予定）

科目区分		科目番号	授 業 科 目	単位	職 名	担 当 者	備 考			
基 礎 科 目	商 学 分 野	流 通 ・ マ ー ケ ー テ ィ ン グ 系	1	商学原理講義	4	准教授	畠山 直			
			2	流通・マーケティング論講義	4	教授	吉川 勝広			
			3	マーケティング・リサーチ論講義	4	教授	波積 真理			
			4	流通政策論講義	4	准教授	畠山 直			
			5	交通論講義	4	教授	伊津野 範博			
			6	ビジネス特講Ⅰ	2	教授	池上 恭子			
			7	ビジネス特講Ⅱ	2	教授	波積 真理			
			8	流通論基礎講義	2	准教授	畠山 直			
	商 学 分 野	フ ァ イ ナ ン ス ・ 会 計 系	9	金融論講義	4					
			10	証券経済論講義	4					
			11	保険論講義	4	教授	林 裕			
			12	経営財務論講義	4	教授	池上 恭子			
			13	会計学原理講義	4					
			14	財務会計論講義	4	教授	小谷 学			
			15	管理会計論講義	4					
			16	会計監査論講義	4					
			17	会計制度論講義	4					
			商 学 分 野	経 営 系	18	経営史講義	4	教授	幸田 亮一	
					19	労務管理論講義	4	教授	今村 寛治	
					20	経営管理論講義	4	教授	喬 晋建	
					21	ビジネスリテラシーⅠ	2	教授	宅間 文夫	
					22	ビジネスリテラシーⅡ	2			
					23	ビジネス倫理	2			
					24	会社法講義	4			
					25	労働法講義	4	教授	春田 吉備彦	
	26	会社税法講義			4					
	商 学 分 野	計 量 経 済 学 系	理 論 ・ 実 証 系	27	ミクロ経済学講義	2		複数担当		
				28	マクロ経済学講義	2		複数担当		
				29	実証分析講義	2		複数担当		
				30	ゲーム理論講義	4	准教授	熊谷 啓希		
				31	動学マクロ経済学講義	4	教授	坂上 智哉		
				32	計量経済学講義	4	教授	宅間 文夫		
		商 学 分 野	経 済 政 策 ・ 経 済 史 系	33	経済政策論講義	4	教授	小葉 武史		
				34	産業組織論講義	4	准教授	岡村 薫		
				35	労働経済論講義	4	准教授	米田 耕士		
				36	環境経済論講義	4	准教授	坂上 紳		
				37	農業政策論講義	4	教授	佐藤 加寿子		
				38	社会思想史講義	4	准教授	渡邊 裕一		
				39	財政学講義	4	教授	金子 林太郎		
				40	企業法講義	4	教授	井上 弘樹		
				41	税法講義	4				
				42	現代社会問題講義（租税論）	2				
		商 学 分 野	国 際 経 済 学 系	43	地域公共政策論講義	4	教授	溝上 章志		
				44	国際経済論講義	4	教授	金 栄 緑		
				45	開発経済論講義	4	准教授	宮田 英依		
				46	国際関係論講義	4	准教授	宮崎 麻美		
	47			国際経済法講義	4	准教授	浪本 浩志			

科目区分		科目番号	授 業 科 目		単位	職 名	担 当 者	備 考		
基礎科目	共通	データサイエンス系	48		統計学	2	教授	林田 実		
			49		情報セキュリティ	2		複数担当		
			50		情報基礎講義	2	教授	得重 仁		
			51		データサイエンス概論	4	教授	林田 実		
			52		人工知能概論	2	准教授	江口 智士		
			53		情報処理論講義	4	教授	飯高 敏和		
			54		空間情報解析講義	4	教授	新村 太郎		
			55		応用システム論講義	4	准教授	江口 智士		
フオロアーアップ演習	商学分野	56		流通・マーケティング論基礎演習	2	教授	吉川 勝広			
		57		会計ファイナンス基礎演習	2					
		58		経営学基礎演習	2	教授	喬 晋 建			
		59		ビジネス法基礎演習	2	教授	井上 弘樹			
	経済学分野	60		ミクロ経済学基礎演習	1		複数担当			
		61		マクロ経済学基礎演習	1		複数担当			
応用科目	商学分野	マーケティング系・流通系	63	○	商学原理演習	8	准教授	畠山 直		
			64	○	流通・マーケティング論演習	8	教授	吉川 勝広		
			65	○	マーケティング・リサーチ論演習	8	教授	波積 真理		
			66	○	交通論演習	8	教授	伊津野 範博		
		ファイナンス・会計系	67	○	保険論演習	8	教授	林 裕		
			68	○	経営財務論演習	8	教授	池上 恭子		
			69	○	財務会計論演習	8	教授	小谷 学		
			70	○	経営史演習	8	教授	幸田 亮一		
	経営系	71	○	労務管理論演習	8	教授	今村 寛治			
		72	○	経営管理論演習	8	教授	喬 晋 建			
		経済学	計量経済学系・理論	73	○	ゲーム理論演習	8	准教授	熊谷 啓希	
				74	○	動学マクロ経済学演習	8	教授	坂上 智哉	
	75			○	計量経済学演習	8	教授	宅間 文夫		
	経済政策・経済史系		76	○	経済政策論演習	8	教授	小葉 武史		
			77	○	産業組織論演習	8	准教授	岡村 薫		
			78	○	労働経済論演習	8	准教授	米田 耕士		
			79	○	環境経済論演習	8	准教授	坂上 紳		
			80	○	農業政策論演習	8	教授	佐藤 加寿子		
	分野	国際地域経済系	81	○	社会思想史演習	8	准教授	渡邊 裕一		
			82	○	財政学演習	8	教授	金子 林太郎		
			83	○	地域公共政策論演習	8	教授	溝上 章志		
84			○	国際経済論演習	8	教授	金 栄 緑			
85		○	開発経済論演習	8	准教授	宮田 英依				
86		○※	国際関係論演習	8	准教授	宮崎 麻美				
87		○	国際経済法演習	8	准教授	浪本 浩志				
データサイエンス系	88	○	データ分析応用演習	8	教授	林田 実				
	89	○	情報処理論演習	8	教授	飯高 敏和				
	90	○	空間情報解析演習	8	教授	新村 太郎				
	91	○	応用システム論演習	8	准教授	江口 智士				
公務員試験科目	経済学分野	92		ミクロ経済学問題解法	1		複数担当			
		93		マクロ経済学問題解法	1		複数担当			

- [注] 1. ○印は、令和7（2025）年度開講予定の演習科目です。
2. 授業科目および担当者については、都合により一部変更する場合があります。
3. ※印の科目については、修学期間中に担当教員の退職や留学等が予定されており、指導教員変更等の可能性があります。専攻を希望する方は、担当教員、または大学院事務室まで事前にご相談ください。

国際文化研究科国際文化専攻 修士課程 令和7（2025）年度開設科目一覧（予定）

科目区分	科目番号	授 業 科 目	単位	職 名	担 当 者	備 考
日本文化研究	1	古典文学特殊研究	4			
	2	古典文学特殊研究演習	8			
	3	近代文学特殊研究Ⅰ	4			
	4	近代文学特殊研究Ⅰ演習	8			
	5	近代文学特殊研究Ⅱ	4	教授	赤井 恵子	
	6	近代文学特殊研究Ⅱ演習	8	教授	赤井 恵子	
	7	言語処理論特殊研究	4			
	8	言語処理論特殊研究演習	8			
	9	日本史特殊研究	4	教授	小川 弘和	
	10	日本語教育特殊研究	4	教授	塩入 すみ	
	11	○ 日本語教育特殊研究演習	8	教授	塩入 すみ	
東アジア文化研究	12	東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅰ	4			
	13	東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅰ演習	8			
	14	東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅱ	4	教授	小笠原 淳	
	15	○ 東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅱ演習	8	教授	小笠原 淳	
	16	東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅲ	4	教授	野田 耕司	
	17	東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅲ演習	8			
	18	東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅳ	4			
	19	東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅳ演習	8			
	20	東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅴ	4	准教授	黒島 規史	
	21	東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅴ演習	8			
	22	東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅵ	4	教授	馮 蘊澤	
	23	○ 東アジア（中国）言語文化特殊研究Ⅵ演習	8	教授	馮 蘊澤	
	24	東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅶ	4	教授	申明 直	
	25	○ 東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅶ演習	8	教授	申明 直	
	26	東アジア（中国）地域文化特殊研究Ⅰ	4	准教授	田上 智宜	
	27	東アジア（中国）地域文化特殊研究Ⅰ演習	8			
	28	東アジア（韓国・朝鮮）地域文化特殊研究Ⅱ	4	教授	土井 浩嗣	
29	○ 東アジア（韓国・朝鮮）地域文化特殊研究Ⅱ演習	8	教授	土井 浩嗣		
30	東アジア地域言語文化総合演習	2			複数担当	
欧米文化研究	31	イギリス文学特殊研究	4			
	32	イギリス文学特殊研究演習	8			
	33	アメリカ文学特殊研究Ⅰ	4	教授	向井 久美子	
	34	○ アメリカ文学特殊研究Ⅰ演習	8	教授	向井 久美子	
	35	アメリカ文学特殊研究Ⅱ	4			
	36	アメリカ文学特殊研究Ⅱ演習	8			
	37	英語学特殊研究Ⅰ（英語教育評価論）	4			
	38	英語学特殊研究Ⅰ（英語教育評価論）演習	8			
	39	英語学特殊研究Ⅱ（外国語習得論）	4	教授	坂田 直樹	
	40	英語学特殊研究Ⅱ（外国語習得論）演習	8			
	41	英語学特殊研究Ⅲ（文体論）	4			
	42	英語学特殊研究Ⅲ（文体論）演習	8			
	43	英語学特殊研究Ⅳ（応用言語学）	4	教授	米岡 ジュリ	
	44	○ 英語学特殊研究Ⅳ（応用言語学）演習	8	教授	米岡 ジュリ	
	45	英語コミュニケーション論特殊研究	4			
	46	英語コミュニケーション論特殊研究演習	8			
	47	フランス文学特殊研究（フランス詩論）	4			
	48	ドイツ語特殊研究（ドイツ現代言語論）	4			
	49	スペイン語特殊研究	4			
	50	スペイン語特殊研究演習	8			
	51	西洋史特殊研究	4			

- [注] 1. ○印は、令和7（2025）年度開講予定の演習科目です。
2. 授業科目および担当者については、都合により一部変更する場合があります。

社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程 令和7（2025）年度開設科目一覧（予定）

科目区分	科目番号	授 業 科 目	単 位	職 名	担 当 者	備 考	
主 要 学 科 目	必修科目	1		社会福祉学・福祉環境学方法論専門研究	2		複数担当
	選 択 必 修 科 目	2		社会福祉学専門研究	2	教 授	西崎 緑
		3	○	社会福祉学専門研究演習	8	教 授	西崎 緑
		4		高齢者保健福祉論専門研究	2		
		5		高齢者福祉論専門研究	2	教 授	仁科 伸子
		6	○	高齢者福祉論専門研究演習	8	教 授	仁科 伸子
		7		障害児者福祉論専門研究	2		
		8		障害児者福祉論専門研究演習	8		
		9		地域福祉論専門研究	2	教 授	高林 秀明
		10	○	地域福祉論専門研究演習	8	教 授	高林 秀明
		11		障害学専門研究	2	教 授	堀 正嗣
		12	○	障害学専門研究演習	8	教 授	堀 正嗣
		13		児童福祉論専門研究	2		
		14		児童福祉論専門研究演習	8		
		15		保育学専門研究	2		
		16		保育学専門研究演習	8		
		17		社会保障論専門研究	2	教 授	松本 勝明
		18	○	社会保障論専門研究演習	8	教 授	松本 勝明
		19		社会福祉法制専門研究	2		
		20		社会福祉法制専門研究演習	8		
		21		家族社会学専門研究	2	教 授	山西 裕美
		22		家族社会学専門研究演習	8		
		23		日本社会福祉史専門研究	2		
		24		日本社会福祉史専門研究演習	8		
		25		西欧社会福祉史専門研究	2	教 授	岡部 造史
		26	○	西欧社会福祉史専門研究演習	8	教 授	岡部 造史
		27		地域社会専門研究	2		
		28		地域社会専門研究演習	8		
		29		現代人権政策論専門研究	2	准教授	森口 千弘
		30		現代人権政策論専門研究演習	8		
		31		福祉臨床と心理学専門研究	2		
		32		福祉臨床と心理学専門研究演習	8		
		33		ソーシャルワーク方法論専門研究	2	教 授	黒木 邦弘
関 連 学 科 目	選 択 科 目	34		社会福祉方法論専門研究	2		
		35		女性福祉論専門研究	2		
		36		社会福祉実習	2		

- [注] 1. ○印は、令和7（2025）年度開講予定の演習科目です。
2. 授業科目および担当者については、都合により一部変更する場合があります。

社会福祉学研究科福祉環境学専攻 修士課程 令和7（2025）年度開設科目一覧（予定）

科目区分	科目番号	授 業 科 目	単位	職 名	担 当 者	備 考	
主 要 学 科 目	必 修 科 目	1	社会福祉学・福祉環境学方法論専門研究	2		複数担当	
		2	ソーシャルワーク・リサーチ専門研究	2		複数担当	
		3	福祉環境学フィールドワークⅠ (水俣地域・不知火海、実地調査・ワークショップ)	2		複数担当	
	選 択 必 修 科 目	4	環境福祉論専門研究	2			
		5	環境福祉論専門研究演習	8			
		6	環境法学専門研究	2			
		7	環境法学専門研究演習	8			
		8	環境社会論専門研究	2			
		9	環境社会論専門研究演習	8			
		10	生活環境論専門研究	2			
		11	生活環境論専門研究演習	8			
		12	環境マネジメント論専門研究	2	教 授	中地 重晴	
		13	○ 環境マネジメント論専門研究演習	8	教 授	中地 重晴	
		14	人権社会論専門研究	2			
		15	人権社会論専門研究演習	8			
		16	社会政策専門研究	2			
		17	社会政策専門研究演習	8			
		18	精神保健福祉学専門研究	2	教 授	城野 匡	
		19	○ 精神保健福祉学専門研究演習	8	教 授	城野 匡	
		20	ソーシャルワーク・リサーチ専門研究演習	8			
		21	ライフウェルネスと健康・スポーツ心理学専門研究	2			
		22	ライフウェルネスと健康・スポーツ心理学専門研究演習	8			
		23	スポーツ社会学専門研究	2	教 授	立木 宏樹	
		24	健康教育学専門研究	2	教 授	藤塚 千秋	
関 連 学 科 目	選 択 科 目	25	福祉環境学フィールドワークⅡ (国内公害発生地域臨地研修)	2		複数担当	
		26	福祉環境学フィールドワークⅢ (海外公害発生地域臨地研修)	2		複数担当	
		27	社会調査方法論専門研究	2		複数担当	
		28	環境社会学専門研究	2			
		29	環境経済学専門研究	2			
		30	環境生態学専門研究	2			
		31	開発と環境専門研究	2			
		32	海外環境事情専門研究	2			

- [注] 1. ○印は、令和7（2025）年度開講予定の演習科目です。
2. 授業科目および担当者については、都合により一部変更する場合があります。

商学・経済学研究科商学・経済学専攻 博士後期課程
令和7（2025）年度開設科目一覧（予定）

科目区分	科目番号	授 業 科 目	単位	職 名	担 当 者	備 考	
商 学 分 野	マーケティング系 流通・ マーケティング	1	流通・マーケティング論研究指導	4	教授	吉川 勝広	
		2	○ 流通・マーケティング論研究指導演習	12	教授	吉川 勝広	
		3	交通論研究指導	4	教授	伊津野 範博	
		4	○ 交通論研究指導演習	12	教授	伊津野 範博	
		5	マーケティング・リサーチ論研究指導	4	教授	波積 真理	
		6	○ マーケティング・リサーチ論研究指導演習	12	教授	波積 真理	
	ファイナンス・ 会計系	7	保険論研究指導	4	教授	林 裕	
		8	○ 保険論研究指導演習	12	教授	林 裕	
		9	財務管理論研究指導	4	教授	池上 恭子	
		10	○ 財務管理論研究指導演習	12	教授	池上 恭子	
		11	会計学原理研究指導	4	教授	佐藤 信彦	
		12	○ 会計学原理研究指導演習	12	教授	佐藤 信彦	
		13	財務会計論研究指導	4	教授	小谷 学	
		14	○ 財務会計論研究指導演習	12	教授	小谷 学	
		15	会社税法研究指導	4	教授	成宮 哲也	
		16	○ 会社税法研究指導演習	12	教授	成宮 哲也	
		17	会計制度論研究指導	4	教授	大塚 成男	
		18	○ 会計制度論研究指導演習	12	教授	大塚 成男	
		19	管理会計論研究指導	4	准教授	新改 敬英	
		20	○ 管理会計論研究指導演習	12	准教授	新改 敬英	
	経営・ 情報系	21	経営史研究指導	4	教授	幸田 亮一	
		22	経営史研究指導演習	12	教授	幸田 亮一	
		23	経営管理論研究指導	4	教授	喬 晋建	
		24	○ 経営管理論研究指導演習	12	教授	喬 晋建	
		25	労務管理論研究指導	4	教授	今村 寛治	
		26	○ 労務管理論研究指導演習	12	教授	今村 寛治	
経済学 分野	理論・ 情報系	27	ゲーム理論研究指導	4	准教授	熊谷 啓希	
		28	動学マクロ経済学研究指導	4	教授	坂上 智哉	
		29	○ 動学マクロ経済学研究指導演習	12	教授	坂上 智哉	
		30	情報処理論研究指導	4	教授	飯高 敏和	
		31	○ 情報処理論研究指導演習	12	教授	飯高 敏和	
	経済政策・ 経済史系	32	経済政策論研究指導	4	教授	小葉 武史	
		33	○ 経済政策論研究指導演習	12	教授	小葉 武史	
		34	農業政策論研究指導	4	教授	佐藤 加寿子	
		35	労働経済論研究指導	4	准教授	米田 耕士	
		36	環境経済論研究指導	4	准教授	坂上 紳	
		37	地方財政論研究指導	4	教授	金子 林太郎	
	地域経済・ 国際経済系	38	地域経済分析研究指導	4	教授	宅間 文夫	
		39	○ 地域経済分析研究指導演習	12	教授	宅間 文夫	
		40	地域公共政策論研究指導	4	教授	溝上 章志	
		41	地域公共政策論研究指導演習	12	教授	溝上 章志	
		42	国際経済論研究指導	4	教授	金 栄 緑	
		43	○ 国際経済論研究指導演習	12	教授	金 栄 緑	
		44	開発経済論研究指導	4	准教授	宮田 英依	
		45	○ 開発経済論研究指導演習	12	准教授	宮田 英依	

- [注] 1. ○印は、令和7（2025）年度開講予定の演習科目です。
2. 授業科目および担当者については、都合により一部変更する場合があります。

国際文化研究科国際文化専攻 博士後期課程 令和7（2025）年度開設科目一覧（予定）

科目区分	科目番号	授 業 科 目	単位	職 名	担 当 者	備 考
日本文化研究	1	古典文学特殊講義	4			
	2	古典文学特殊研究指導	12			
	3	近代文学特殊講義 I	4			
	4	近代文学特殊研究指導 I	12			
	5	近代文学特殊講義 II	4	教授	赤井 恵子	
東アジア文化研究	6	東アジア（中国）言語文化特殊講義 I	4	教授	小笠原 淳	
	7	東アジア（中国）言語文化特殊研究指導 I	12			
	8	東アジア（中国）言語文化特殊講義 II	4			
	9	東アジア（中国）言語文化特殊研究指導 II	12			
	10	東アジア（中国）言語文化特殊講義 III	4			
	11	東アジア（中国）言語文化特殊研究指導 III	12			
	12	東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊講義 IV	4			
	13	東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究指導 IV	12			
	14	東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊講義 V	4			
	15	東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究指導 V	12			
	16	東アジア（中国）言語文化特殊講義 VI	4	教授	馮 蘊 澤	
	17	○ 東アジア（中国）言語文化特殊研究指導 VI	12	教授	馮 蘊 澤	
	18	東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊講義 VII	4	教授	申 明 直	
	19	○ 東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究指導 VII	12	教授	申 明 直	
	20	東アジア（中国）地域文化特殊講義 I	4			
	21	東アジア（中国）地域文化特殊研究指導 I	12			
	22	東アジア（韓国・朝鮮）地域文化特殊講義 II	4	教授	土井 浩嗣	
	23	東アジア（韓国・朝鮮）地域文化特殊研究指導 II	12			
英米文化研究	24	アメリカ文学特殊講義	4	教授	向井 久美子	
	25	○ アメリカ文学特殊研究指導	12	教授	向井 久美子	
	26	イギリス文学特殊講義	4			
	27	イギリス文学特殊研究指導	12			
	28	英語学特殊講義（文体論）	4			
	29	英語学特殊研究指導（文体論）	12			
	30	英語教育学特殊講義 I（評価論）	4			
	31	英語教育学特殊研究指導 I（評価論）	12			
	32	英語教育学特殊講義 II（外国語習得論）	4			
	33	英語教育学特殊研究指導 II（外国語習得論）	12			

- [注] 1. ○印は、令和7（2025）年度開講予定の演習科目です。
2. 授業科目および担当者については、都合により一部変更する場合があります。

社会福祉学研究科社会福祉学専攻 博士後期課程 令和7（2025）年度開設科目一覧（予定）

科目区分	科目番号	授 業 科 目	単位	職 名	担 当 者	備 考
	1	社会福祉学方法論高度専門研究	2		担当者全員	
社会福祉学領域 （理論と歴史）	2	社会福祉学特殊講義Ⅰ （社会福祉理論）	4	教 授	西崎 緑	
	3	○ 社会福祉学特殊研究指導Ⅰ （社会福祉理論）	12	教 授	西崎 緑	
	4	社会福祉学特殊研究指導Ⅱ （西欧社会福祉史）	12			
	5	社会福祉学特殊講義Ⅳ （障害学）	4	教 授	堀 正嗣	
	6	○ 社会福祉学特殊研究指導Ⅳ （障害学）	12	教 授	堀 正嗣	
	7	社会福祉学特殊講義Ⅴ （精神保健福祉学）	4	教 授	城野 匡	
	8	社会福祉学特殊研究指導Ⅴ （精神保健福祉学）	12			
	9	社会福祉学特殊講義Ⅵ （高齢者福祉論）	4	教 授	仁科 伸子	
	10	社会福祉学特殊研究指導Ⅵ （高齢者福祉論）	12			
	11	社会福祉学特殊講義Ⅶ （地域福祉論）	4	教 授	高林 秀明	
	12	○ 社会福祉学特殊研究指導Ⅶ （地域福祉論）	12	教 授	高林 秀明	
	社会福祉政策学領域 （制度と政策）	13	社会福祉政策学特殊講義Ⅰ （社会保障論）	4	教 授	松本 勝明
14		○ 社会福祉政策学特殊研究指導Ⅰ （社会保障論）	12	教 授	松本 勝明	
15		社会福祉政策学特殊講義Ⅱ （社会政策）	4			
16		社会福祉政策学特殊研究指導Ⅱ （社会政策）	12			
17		社会福祉政策学特殊研究指導Ⅲ （人権社会論）	12			
18		社会福祉政策学特殊講義Ⅳ （保育学）	4			
19		社会福祉政策学特殊研究指導Ⅳ （保育学）	12			
環境福祉学領域 （環境と地域）	20	環境福祉学特殊研究指導Ⅰ （環境福祉学）	12			
	21	環境福祉学特殊講義Ⅱ （生活環境学）	4			
	22	環境福祉学特殊研究指導Ⅱ （生活環境学）	12			
	23	環境福祉学特殊研究指導Ⅳ （地域社会論）	12			

- [注] 1. ○印は、令和7（2025）年度開講予定の演習科目です。
2. 授業科目および担当者については、都合により一部変更する場合があります。

共通事項

1. 募集課程・募集人員及び修業年限

研究科名	専攻名	課程	募集人員	修業年限
商学・経済学研究科	商学・経済学専攻	修士課程	4名	2年
		博士後期課程	2名	3年
国際文化研究科	国際文化専攻	修士課程	5名	2年
		博士後期課程	3名	3年
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	修士課程	5名	2年
		博士後期課程	3名	3年
	福祉環境学専攻	修士課程	5名	2年

2. 入試日程・試験会場

	試験日	出願期間	合格発表	入学手続締切	試験会場	
修士課程	9月入試	9月29日(日)	8月22日(木) ～8月29日(木)	10月4日(金) 10:00	第1回10月18日(金) 第2回令和7年3月7日(金)	※ 熊本学園大学
	11月入試	11月10日(日)	10月3日(木) ～10月10日(木)	11月15日(金) 10:00	第1回11月29日(金) 第2回令和7年3月7日(金)	
	2月入試	令和7年 2月16日(日)	令和7年 1月9日(木) ～1月16日(木)	令和7年 2月21日(金) 10:00	令和7年3月7日(金)	
博士後期課程	9月入試	9月29日(日)	8月22日(木) ～8月29日(木)	10月4日(金) 10:00	第1回10月18日(金) 第2回令和7年3月7日(金)	
	2月入試	令和7年 2月16日(日)	令和7年 1月9日(木) ～1月16日(木)	令和7年 2月21日(金) 10:00	令和7年3月7日(金)	

※ 熊本学園大学 〒862-8680 熊本市中央区大江 2-5-1 TEL 096-371-8036 (大学院事務室直通)

※ 会場およびキャンパス内の地図は、熊本学園大学ホームページにてご確認ください。

※ 試験室(教室)は、受験票に同封する案内文書をご確認ください。

3. 出願期間

出願期間内に必着するよう、郵送(書留速達)または持参により提出してください。
なお、出願書類提出用封筒の差出人欄も必ず記載するようにしてください。

郵送	専用の封筒(出願書類提出用封筒)に出願書類をすべて入れて、書留速達にて送付してください。 なお、宛先は専用の封筒に記載してあります。
持参	専用の封筒(出願書類提出用封筒)に出願書類をすべて入れて、下記の時間帯に、本学14号館5階 大学院事務室窓口までご提出ください。 月～金曜日:9:00-17:00 土曜・日曜・祝日は受け付けません。

4. 試験科目

【修士課程】

研究科名	専攻名	募集			入試種別	筆記試験			面接	書類審査	詳細
		9月	11月	2月		専門科目	小論文	外国語(英語)			
商学・経済学研究科	商学・経済学専攻	◎	◎	◎	一般	●		●	●	●	P.17
		◎	◎	◎	外国人留学生	●			●	●	P.19
		◎	◎	◎	社会人		●		●	●	P.24
		◎		◎	飛び級	●		●	●	●	P.29
			◎	◎	推薦 (本学商学部・経済学部生対象)				●	●	P.27
国際文化研究科	国際文化専攻	◎	◎	◎	一般・外国人留学生	●		●*	●	●	P.21
		◎	◎	◎	社会人	●			●	●	P.24
		◎	◎	◎	推薦 (本学外国語学部生対象)				●	●	P.27
		◎	◎	◎	社会人特別推薦				●	●	P.26
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻 福祉環境学専攻	◎	◎	◎	一般	●			●	●	P.17
		◎	◎	◎	外国人留学生	●			●	●	P.19
		◎	◎	◎	社会人	●			●	●	P.24
			◎	◎	推薦 (本学社会福祉学部生対象)				●	●	P.27

※ 専修科目に応じて指定された外国語科目より選択

【博士後期課程】

研究科名	専攻名	筆記試験	口述試験	書類審査	詳細
商学・経済学研究科	商学・経済学専攻	● (英語)	●	●	P.31
国際文化研究科	国際文化専攻	● (外国語)*	●	●	
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	● (専修科目に関する論述試験)	●	●	

※ 専修科目に応じて指定された外国語科目より選択

5. 入学検定料

【修士課程】

入試種別	一般、外国人留学生、社会人、社会人特別推薦、飛び級	30,000 円
	推薦	15,000 円

【博士後期課程】

30,000 円

- ・一旦納付した入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・提出書類の内容に虚偽または著しい誇張があった場合は、合格・入学を取り消します。その場合、一度納入された「入学検定料」「入学手続金等」および「出願書類」「入学手続書類」等は返還しません。

～ 入学検定料の支払い方法 ～

入学検定料は、銀行の窓口またはATMより、電信扱いで出願期間内に以下の口座にお振り込みください。

【口座】 (名義) 学校法人 熊本学園
(口座) 肥後銀行 子飼橋支店 普通預金 1780655

なお、振り込まれる際は「出願する研究科」と「出願者の氏名」が分かるようにする必要がありますので、以下の注意事項をよくご確認ください。振込を行ってください。「出願する研究科」と「出願者の氏名」の記入がない場合、入金金の確認ができない可能性がありますので、必ずご記入をお願いします。

(注意事項)

- ・銀行窓口で振り込む場合は、振込用紙に「出願する研究科を示すアルファベット2文字」と「氏名」の順に振込用紙に記載できる文字数まで記入してください。
- ・ATMで振り込む場合は、「振込名の変更」を行い、「出願する研究科を示すアルファベット2文字」と「氏名」を入力してください。受験生本人の口座を使用して振り込む場合にも、「振込名の変更」手続が必要です。
- ・「出願する研究科を示すアルファベット2文字」は、以下のとおりです。

商学・経済学研究科 商学・経済学専攻 修士課程 (商学分野)	MC	国際文化研究科 国際文化専攻 修士課程	MA
商学・経済学研究科 商学・経済学専攻 修士課程 (経済学分野)	ME	国際文化研究科 国際文化専攻 博士後期課程	DA
商学・経済学研究科 商学・経済学専攻 博士後期課程 (商学分野)	DC	社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程	MW
商学・経済学研究科 商学・経済学専攻 博士後期課程 (経済学分野)	DE	社会福祉学研究科 福祉環境学専攻 修士課程	MS
		社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士後期課程	DW

【振込用紙記入例】

- ・肥後銀行窓口備え付けの振込用紙を用いた入学手続き金の振込用紙記入例です。
- ・専攻、課程ごとにアルファベット2文字は異なります。※のアルファベットは上記の「出願する研究科を示すアルファベット2文字」をご確認の上、お間違えのないようご記入ください。

The image shows a sample remittance form from Fukuoka Bank. The form is titled "お振込依頼書(兼払戻請求書)" and is for the branch "肥後銀行あて" (Fukuoka Bank, Branch 10120). The branch name is "子飼橋" (Shikoihashi). The amount is "1" and the purpose is "入学検定料を記入" (Tuition fee). The recipient is "学校法人 熊本学園" (School Corporation Kumamoto Gakuen) with the account name "MCカクエンタロウ". The sender is "MC 学園 太郎" (MC Gakuen Tarou). The form includes fields for date, amount, branch name, account name, and a signature area.

6. 受験票の送付

出願書類のすべてが提出され、出願が受理された志願者に対し、受験票を発送します。以下の日までに受験票が届かない場合は、大学院事務室までお問い合わせください。

修士課程	9月入試	9月25日(水)
	11月入試	11月6日(水)
	2月入試	令和7年2月12日(水)
博士後期課程	9月入試	9月25日(水)
	2月入試	令和7年2月12日(水)

7. 受験上の注意

- ・ 受験票は必ず持参し、受験する際、机の上に出しておいてください。
- ・ 筆記用具、時計等は各自で持参してください。これらの貸出は行いません。
- ・ 時計のアラームは使用できません。また、翻訳機能付きの時計等の使用は認めません。
- ・ 試験中、携帯電話等は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ・ 試験を途中で放棄した場合であっても、当該時限の試験終了まで、試験室から退出することはできません。
- ・ 試験開始後、20分を経過しての入室は認めません。

8. 合格発表

- ・ 受験者には合否結果を通知（郵送）します。合格者には入学手続書類を同封します。
- ・ 電話による問い合わせには一切応じません。
- ・ 合格発表は、本学大学院ホームページ（下記URL）にて合格者の受験番号を公開します。本学内での掲示等を行いませんので、ご注意ください。
<http://www.kumagaku.ac.jp/daigakuin/>

9. 入学手続

- ・ 合格者は、入学手続日までに入学金を納付（銀行振込）するとともに、入学手続書類を大学院事務室まで提出してください。期日までに必要な手続きを完了しない場合は、入学許可を取り消します。
- ・ 令和7年3月31日〔必着〕までに、入学辞退を申し出た方については、入学手続時に納付した金額のうち、入学金を除いた額を返還します。
- ・ 令和7年4月1日以降の入学辞退者については、入学金を含めた入学時納入金は理由の如何を問わず返還しません。

10. 個別の出願資格審査について

個別の出願資格審査を希望される方は、出願前に、審査を受けなければなりません。

志願者は出願期間の前に本学大学院事務室に個別の出願資格審査を希望する旨、事前に連絡するとともに、下記期間内（締切日必着）に、必要書類を提出してください。

〔必要書類〕

- ・ [本学所定用紙1] 大学院出願資格認定申請書
- ・ [本学所定用紙2] 履歴書
- ・ [本学所定用紙3] 志望理由書
- ・ [本学所定用紙4] 研究計画書
- ・ [本学所定用紙5] 研究業績書（研究業績のある方のみ）
- ・ [本学所定用紙6] 業務実績一覧（業務実績又は業務経験のある方のみ）
- ・ 論文またはそれに代わるもの1部（博士後期課程のみ）
- ・ 最終出身学校の成績証明書（発行日が申請前3ヶ月以内のもの）
- ・ 最終出身学校の卒業証明書（発行日が申請前3ヶ月以内のもの）
- ・ 最終出身学校より後に、中途退学等の経歴がある場合、その学校の成績証明書（発行日が申請前3ヶ月以内のもの）
- ・ 資格または経験を有することを証明する書類（合格証明書、合格証書の写し等）

〔出願期間〕

11月28日（木）～ 12月5日（木）〔締切日必着〕

※ 個別審査による受験は、【2月入試】のみとなります。

大学院事務室の電話番号は巻末に掲載しています。

11. しょうがい等がある方へ

しょうがい等により、受験・修学に際して配慮を必要とされる方は、大学院事務室までご連絡ください。

12. 長期履修制度について

長期履修制度とは、仕事を続けながら大学院に通う社会人などに配慮し、標準修業年限内（修士課程2年、博士後期課程3年）での履修が困難な場合、修業年限を延長（修士課程3年、博士後期課程5年）して履修できる制度です。

長期履修を希望される方は、出願時に必要書類を提出してください。

〔必要書類〕

- ・ [本学所定用紙] 長期履修申請書
- ・ 長期履修を申請する理由を証明する書類（在職証明書等）

なお、在学中1回を限度として、長期履修の申請、または長期履修の取消を申請することができます。

13. 納入金

【修士課程】

(単位：円)

学年・期別	種別	一般納入金				委託徴収金	合計	納入期限
		入学金	授業料	施設費	計	同窓会費		
第1年次		100,000			100,000		100,000	入学手続 指定日時
	1期		312,000	30,000	342,000		342,000	
	2期		312,000	30,000	342,000	20,000	362,000	9月28日
	合計	100,000	624,000	60,000	784,000	20,000	804,000	

【博士後期課程】

(単位：円)

学年・期別	種別	一般納入金				委託徴収金	合計	納入期限
		入学金	授業料	施設費	計	同窓会費		
第1年次		100,000			100,000		100,000	入学手続 指定日時
	1期		312,000	30,000	342,000		342,000	
	2期		312,000	30,000	342,000	20,000	362,000	9月28日
	合計	100,000	624,000	60,000	784,000	20,000	804,000	

【修士課程】＜長期履修生用＞

(単位：円)

学年・期別	種別	一般納入金				委託徴収金	合計	納入期限
		入学金	授業料	施設費	計	同窓会費		
第1年次		100,000			100,000		100,000	入学手続 指定日時
	1期		208,000	30,000	238,000		238,000	
	2期		208,000	30,000	238,000	20,000	258,000	9月28日
	合計	100,000	416,000	60,000	576,000	20,000	596,000	

【博士後期課程】＜長期履修生用＞

(単位：円)

学年・期別	種別	一般納入金				委託徴収金	合計	納入期限
		入学金	授業料	施設費	計	同窓会費		
第1年次		100,000			100,000		100,000	入学手続 指定日時
	1期		187,200	30,000	217,200		217,200	
	2期		187,200	30,000	217,200	20,000	237,200	9月28日
	合計	100,000	374,400	60,000	534,400	20,000	554,400	

※ 令和7年度入学生の納入金額は変更となる場合があります。

※ 入学金及び同窓会費については、本学学部卒業生・本学大学院修了者は免除します。

※ 納入期限日が休日あるいは土曜日の場合は、その翌日または翌々日とします。

修士課程

一般入学試験（商学・経済学、社会福祉学）

1. 出願資格

◆ 次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2025年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2025年3月修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣が指定した者
- (8) 本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (9) その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

個別の入学資格審査について

(8) による出願を希望される方は、出願期間前に、当研究科で出願資格についての審査を行います。詳しくはP.15記載の「個別の出願資格審査について」をご確認ください。

2. 試験科目・試験時間

（商学・経済学）

科目	試験時間	
専門科目（100点）	9:30 ~ 11:00	志望する専修科目
外国語（100点）	11:15 ~ 12:15	英語(本学で貸与する英和辞典参照) 商学分野は商学に関する問題 経済学分野は経済学に関する問題
面接	13:00 ~ (予定)	1人 15分程度

● 外国語（英語）の試験について、次のいずれかに該当する者は、申請により受験を免除します。

1. TOEIC (IP テストを含む) 650 点以上
2. 実用英語検定 準1 級以上
3. その他のテストにおいて、上記と同等と認められる場合（出願前に問い合わせること）
 ※ いずれも試験日を基準に2年以内に取得したものに限りです。
 ※ いずれの場合も、該当する資格や点数等を証明する書類（合格証書の写し等）を出願時に提出する必要があります。

（社会福祉学）

科目	試験時間	
専門科目（200点）	9:30 ~ 11:00	出願時に届け出た専修科目及び選択科目
面接	11:30 ~ (予定)	1人 15分程度

3. 出願書類および留意事項

必要書類	内容	商・経	福
入学志願票 [本学所定用紙M-1]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。	○	○
受験票・写真票 [本学所定用紙M-2]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。	○	○
志望理由書 [本学所定用紙M-3]	志望の理由を詳しく記入してください。	○	○
研究計画書 [本学所定用紙M-4]	研究計画を詳しく記入してください。	×	○
受験科目届 [本学所定用紙M-6]	授業科目の中から2科目選択してください。1科目は志望する専修科目、他の1科目は専修科目以外の科目から選択してください。	×	○
成績証明書	出身大学学部の成績証明書。 発行日が出願前3ヶ月以内のもの。 日本語以外で記載されたものは訳文を添付してください。	○	○
卒業証明書または 卒業見込証明書	出身大学の卒業証明書または卒業見込証明書。 大学院修了者は修了証明書、修了見込者は修了見込証明書を併せて提出してください。 発行日が出願前3ヶ月以内のもの。	○	○
宛名シール	受験票送付及び合否通知送付に使用します。 志願者本人の住所・氏名を明記してください。	○	○
長期履修申請書 [本学所定用紙] ※2	必要事項を記入してください。	○	○
長期履修を申請する 理由を証明する書類 ※2	在職証明書等の証明する書類を提出してください。	○	○

※1 写真は、出願前3か月以内に撮影した明瞭な写真で、縦4cm×横3cm・正面・上半身・脱帽で背景のないものとし、また、スピード写真によるものは認めません。

※2 長期履修を希望される方は、P.15「長期履修制度について」をご確認のうえ、出願時に申請してください。

外国人留学生入学試験（商学・経済学、社会福祉学）

1. 出願資格

A 外国籍を有し、初等・中等教育における全ての課程を外国の教育機関で修了した者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2025年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2025年3月修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣が指定した者
- (7) 本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (8) その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

B 外国籍を有し次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 外国における学校教育16年の課程を修了した者および2025年3月修了見込みの者 ※
- (2) 日本における16年の学校教育に相当する教育課程のうち、4年間の大学教育を含む10年以上を外国の学校において修了した者
- (3) 本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
※…中国の大学の場合は「本科」を卒業及び卒業見込みの者

個別の入学資格審査について

A (7)、B (3) による出願を希望される方は、出願期間前に、当研究科で出願資格についての審査を行います。詳しくはP.15記載の「個別の出願資格審査について」をご確認ください。

2. 試験科目・試験時間

(商学・経済学)

科目	試験時間	
専門科目（100点）	9:30 ～ 11:00	志望する専修科目
面接	11:15 ～（予定）	1人 15分程度

(社会福祉学)

科目	試験時間	
専門科目（200点）	9:30 ～ 11:00	出願時に届け出た専修科目及び選択科目
面接	11:30 ～（予定）	1人 15分程度

3. 出願書類および留意事項

必要書類	留意事項	商・経	福
入学志願票 [本学所定用紙M-1]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。	○	○
受験票・写真票 [本学所定用紙M-2]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。	○	○
志望理由書 [本学所定用紙M-3]	志望の理由を詳しく記入してください。	○	○
研究計画書 [本学所定用紙M-4]	研究計画を詳しく書いてください。	×	○
推薦書 [本学所定用紙M-5] ※ 本学出身者については免除	最終出身学校長または指導教員・教官の推薦書。	○	○
受験科目届 [本学所定用紙M-6]	授業科目の中から2科目選択してください。1科目は志望する専修科目、他の1科目は専修科目以外の科目から選択してください。	×	○
成績証明書	出身大学学部の成績証明書の原本を提出してください。 <u>発行日が出願前3ヶ月以内のもの。</u> 日本語以外で記載されたものは訳文を添付してください。	○	○
卒業証明書または卒業見込証明書	出身大学の卒業証明書または卒業見込証明書の原本を提出してください。 大学院修了者は修了証明書、修了見込者は修了見込証明書の原本を併せて提出してください。 <u>発行日が出願前3ヶ月以内のもの。</u> 卒業証明書の発行が困難な方は、卒業証明書原本（中国の場合は卒業証書）を提出してください。原本は確認後返却します。	○	○
宛名シール	受験票送付及び合否通知送付に使用します。 志願者本人の住所・氏名を明記してください。	○	○
パスポートの写し	氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限の記載・写真の貼ってあるページのコピーを提出してください。	○	○
在留カード	在留カード（裏面・表面）のコピーを提出してください。	○	○
日本語能力認定書 ^{※2} [実施機関が発行したもの]	日本国際教育支援協会・国際交流基金が実施する日本語能力試験N1の合格が必要。	○	○
日本語能力認定書 ^{※2} [本学所定用紙B]	日本語講師、原則として指導を受けた機関の責任ある者が日本語で証明したもの。記入者の在職証明書を添付してください。	○	○

※1 写真は出願前3か月以内に撮影した明瞭な写真で、縦4cm×横3cm・正面・上半身・脱帽で背景のないものとします。また、スピード写真によるものは認めません。

※2 日本語能力認定書はどちらか1つを提出してください。ただし、本学出身者については、提出不要です。

一般・外国人留学生入学試験（国際文化）

1. 出願資格

◆ 次の各号のいずれかに該当する者

A 一般学生

- (1) 大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2025年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2025年3月修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣が指定した者
- (8) 本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (9) その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

B 外国人留学生

- (1) 外国における学校教育16年の課程を修了した者および2025年3月修了見込みの者 ※
- (2) 日本における16年の学校教育に相当する教育課程のうち、4年間の大学教育を含む10年以上を外国の学校において修了した者
- (3) 本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
※ …中国の大学の場合は「本科」を卒業及び卒業見込みの者

個別の入学資格審査について

A (8)、B (3) による出願を希望される方は、出願期間前に、当研究科で出願資格についての審査を行います。詳しくはP.15記載の「個別の出願資格審査について」をご確認ください。

2. 試験科目・試験時間

科目	試験時間	
専門科目（200点）	9:30 ~ 11:00	志望する専修科目について出題。（解答する言語は日本語あるいは専攻する研究分野の言語。ただし、日本文化研究分野を専攻する受験生は日本語に限る。）
外国語（100点）	11:15 ~ 12:15	受験科目届で選択した言語 ※辞書参照不可
面接	13:00 ~（予定）	1人 15分程度

- 英語分野を専修とする場合の外国語（英語）の試験について、次のいずれかに該当する者は、申請により受験を免除します。
 1. TOEIC（IPテストを含む） 700点以上
 2. TOEFL 530点以上
 3. TOEFL（iBT） 73点以上
 4. 実用英語検定 準1級以上
 5. その他のテストにおいて、上記と同等と認められる場合（出願前に問い合わせること）
 - ※ いずれも試験日を基準に2年以内に取得したものに限ります。
 - ※ いずれの場合も、該当する資格や点数等を証明する書類（合格証書の写し等）を出願時に提出する必要があります。

3. 出願書類および留意事項

[A 一般学生]

必要書類	留意事項	
入学志願票 [本学所定用紙M-1]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。	
受験票・写真票 [本学所定用紙M-2]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。	
志望理由書 [本学所定用紙M-3]	志望の理由を詳しく記入してください。	
研究計画書 [本学所定用紙M-4]	研究計画を詳しく記入してください。	
受験科目届 [本学所定用紙M-6]	志望する分野に応じて受験科目を選択してください。 日 本 文 化：日本語を母語とする者は、英語、韓国語、中国語のうちいずれか1か国語、日本語を母語としない者は、日本語 東アジア文化：専修科目に応じて、中国語または韓国語 欧 米 文 化：英語	
論文等	論文があれば提出してください。	
成績証明書	出身大学学部の成績証明書。発行日は出願前3ヶ月以内のもの。 日本語以外で記載されたものは訳文を添付してください。	
卒業証明書または卒業見込証明書	出身大学の卒業証明書または卒業見込証明書。大学院修了者は修了証明書、修了見込者は修了見込証明書を併せて提出してください。発行日は出願前3ヶ月以内のもの。 卒業証明書の発行が困難な方は、卒業証明書原本(中国の場合は卒業証書・学位証書)を提出してください。原本は確認後返却します。	
宛名シール	受験票送付及び可否通知送付に使用します。 志願者本人の住所・氏名を明記してください。	
外国籍の方	パスポートの写し	氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限の記載、写真の貼ってあるページのコピーを提出してください。
	在留カード	在留カード(裏面・表面)のコピーを提出してください。
長期履修申請書 [本学所定用紙]	※2 必要事項を記入してください。	
長期履修を申請する理由を証明する書類	※2 在職証明書等の証明する書類を提出してください。	

※1 写真は出願前3か月以内に撮影した明瞭な写真で、縦4cm×横3cm・正面・上半身・脱帽で背景のないものとします。また、スピード写真によるものは認めません。

※2 長期履修を希望する方は、P.15「長期履修制度について」を確認のうえ、出願時に申請してください。

[B 外国人留学生]

必要書類	留意事項
入学志願票 [本学所定用紙M-1]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。
受験票・写真票 [本学所定用紙M-2]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。
志望理由書 [本学所定用紙M-3]	志望の理由を詳しく記入してください。
研究計画書 [本学所定用紙M-4]	研究計画を詳しく記入してください。
推薦書 [本学所定用紙M-5]	最終出身学校長または指導教員・教官の推薦書。
受験科目届 [本学所定用紙M-6]	志望する分野に応じて受験科目を選択してください。 日 本 文 化：日本語を母語とする者は、英語、韓国語、中国語のうちいずれか1か国語、日本語を母語としない者は、日本語 東アジア文化：専修科目に応じて、中国語または韓国語 欧 米 文 化：英語
論文等	論文があれば提出してください。
成績証明書	出身大学学部の成績証明書。発行日は出願前3ヶ月以内のもの。 日本語以外で記載されたものは訳文を添付してください。
出身大学卒業証明書または卒業見込証明書	出身大学の卒業証明書または卒業見込証明書。大学院修了者は修了証明書、修了見込者は修了見込証明書を併せて提出してください。発行日は出願前3ヶ月以内のもの。 卒業証明書の発行が困難な方は、卒業証明書原本（中国の場合は卒業証書・学位証書）を提出してください。原本は確認後返却します。
宛名シール	受験票送付及び合否通知送付に使用します。 志願者本人の住所・氏名を明記してください。
パスポートの写し	氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限の記載、写真の貼ってあるページのコピーを提出してください。
在留カード	在留カード（裏面・表面）のコピーを提出してください。

※1 写真は出願前3か月以内に撮影した明瞭な写真で、縦4cm×横3cm・正面・上半身・脱帽で背景のないものとし、また、スピード写真によるものは認めません。

社会人入学試験（全研究科）

1. 出願資格

商学・経済学

◆ 次の各号のいずれかに該当する者で、出願時点で、社会人としての経験を2年以上有する者

- (1) 大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- (2) 本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

国際文化、社会福祉学

◆ 次の各号のいずれかに該当する者で、2025年4月1日現在、社会人としての経験を2年以上有する者

- (1) 大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- (2) 本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、30歳に達した者
- (3) その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、30歳に達した者

社会人の定義

職に就いている者（給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている者）、企業等を退職した者、主婦・主夫のいずれかに該当する者であること。

個別の入学資格審査について

(2)による出願を希望される方は、出願期間前に、出願資格についての審査を行います。
詳しくはP.15記載の「個別の出願資格審査について」をご確認ください。

2. 試験科目・試験時間

（商学・経済学）

科目	試験時間	
小論文（100点）	9:30～11:00	現代社会の基本的な問題について論述する 商学分野は商学に関する問題 経済学分野は経済学に関する問題
面接	11:15～（予定）	1人15分程度

（国際文化）

科目	試験時間	
専門科目（200点）	9:30～11:00	志望する専修科目について出題。（解答する言語は日本語あるいは専攻する研究分野の言語。ただし、日本文化研究分野を専攻する受験生は日本語に限る。）
面接	11:15～（予定）	1人15分程度

（社会福祉学）

科目	試験時間	
専門科目（200点）	9:30～11:00	出願時に届け出た専修科目及び選択科目
面接	11:30～（予定）	1人15分程度

3. 出願書類および留意事項

必要書類	留意事項	商・経	国	福	
入学志願票 [本学所定用紙M-1]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。	○	○	○	
受験票・写真票 [本学所定用紙M-2]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。	○	○	○	
志望理由書 [本学所定用紙M-3]	志望の理由を詳しく記入してください。	○	○	○	
研究計画書 [本学所定用紙M-4]	研究計画を詳しく記入してください。	○	○	○	
推薦書 [本学所定用紙M-5]	任意提出書類です。 推薦が得られた方のみ提出してください。 職場の上司・同僚、恩師、友人・知人などによる推薦書。	○	○	○	
受験科目届 [本学所定用紙M-6]	授業科目の中から2科目選択してください。1科目は志望する専修科目、他の1科目は専修科目以外の科目から選択してください。	×	×	○	
職務経歴書 [本学所定用紙M-7]	職務経歴を漏れなく、明確に記入してください。	○	×	×	
論文等	任意提出書類です。 論文があれば提出してください。	×	○	×	
成績証明書	出身大学学部の成績証明書。 発行日が出願前3ヶ月以内のもの。 日本語以外で記載されたものは訳文を添付してください。	○	○	○	
卒業証明書または卒業見込証明書	出身大学の卒業証明書または卒業見込証明書。 大学院修了者は修了証明書、修了見込者は修了見込証明書を併せて提出してください。発行日が出願前3ヶ月以内のもの。 卒業証明書の発行が困難な方は、卒業証明書原本(中国の場合は卒業証書・学位証書)を提出してください。原本は後日返却します。	○	○	○	
宛名シール	受験票送付及び合否通知送付に使用します。 志願者本人の住所・氏名を明記してください。	○	○	○	
外国籍の方	パスポートの写し	氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限の記載、写真の貼ってあるページのコピーを提出してください。	○	×	×
	在留カード	在留カード(裏面・表面)のコピーを提出してください。	○	×	×
	日本語能力認定書 ^{※2} [実施機関が発行したもの]	日本国際教育支援協会・国際交流基金が実施する日本語能力試験N1に合格が必要。	○	×	×
	日本語能力認定書 ^{※2} [本学所定用紙B]	日本語講師、原則として指導を受けた機関の責任ある者が日本語で証明したもの。記入者の在職証明書を添付してください。	○	×	×
長期履修申請書 [本学所定用紙]	^{※3} 必要事項を記入してください。	○	○	○	
長期履修を申請する理由を証明する書類	^{※3} 在職証明書等の証明する書類を提出してください。	○	○	○	

※1 写真は出願前3か月以内に撮影した明瞭な写真で、縦4cm×横3cm・正面・上半身・脱帽で背景のないものとし、また、スピード写真によるものは認めません。

※2 日本語能力認定書はどちらかを提出してください。ただし、本学出身者については、提出不要です。

※3 長期履修を希望する方は、P.15「長期履修制度について」を確認のうえ、出願時に申請してください。

社会人特別推薦入学試験（国際文化）

1. 出願資格

◆ 次に該当する者

大学を卒業した者で、中学校または高等学校の現職専任教員である者

2. 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 面接

3. 試験科目・試験時間

科目	試験時間	
面接	9:30 ~	1人 15分程度

4. 出願書類および留意事項

必要書類	留意事項
入学志願票 [本学所定用紙M-1]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。
受験票・写真票 [本学所定用紙M-2]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。
志望理由書 [本学所定用紙M-3]	志望の理由を詳しく記入してください。
研究計画書 [本学所定用紙M-4]	研究計画を詳しく記入してください。
推薦書 [本学所定用紙M-5]	勤務校の校長からの推薦書。
成績証明書	出身大学学部の成績証明書。 発行日が出願前3ヶ月以内のもの。 日本語以外で記載されたものは訳文を添付してください。
卒業証明書	出身大学の卒業証明書。 発行日が出願前3ヶ月以内のもの。
宛名シール	受験票送付及び合否通知送付に使用します。 志願者本人の住所・氏名を明記してください。
長期履修申請書 [本学所定用紙] ※2	必要事項を記入してください。
長期履修を申請する理由 を証明する書類 ※2	在職証明書等の証明する書類を提出してください。

※1 写真は出願前3か月以内に撮影した明瞭な写真で、縦4cm×横3cm・正面・上半身・脱帽で背景のないものとします。また、スピード写真によるものは認めません。

※2 長期履修を希望する方は、P.15「長期履修制度について」を確認のうえ、出願時に申請してください。

推薦入学試験（全研究科）

1. 出願資格

商学・経済学

〔商学分野〕

◆ 次のすべてに該当する者

- (1) 本学商学部を2025年3月卒業見込みの者
- (2) 商学・経済学研究科商学・経済学専攻に関連ある論文（またはこれに準ずるもの）を書いている者
- (3) 商学部教員から、成績優秀であり、研究意欲旺盛であると認められ、推薦を受けている者

〔経済学分野〕

◆ 次のすべてに該当する者

- (1) 本学経済学部を2025年3月卒業見込みの者
- (2) 商学・経済学研究科商学・経済学専攻に関連ある論文（またはこれに準ずるもの）を書いている者
- (3) 経済学部教員から、成績優秀であり、研究意欲旺盛であると認められ、推薦を受けている者

国際文化

◆ 次に該当する者

- (1) 本学外国語学部を2025年3月卒業見込みの者
- (2) 外国語学部教員から、成績優秀であり、研究意欲旺盛であると認められ、推薦を受けている者

社会福祉学

◆ 次に該当する者

- (1) 本学社会福祉学部を2025年3月卒業見込みの者
- (2) ゼミまたは卒業論文担当指導の社会福祉学部教員から、成績優秀であり、研究意欲旺盛であると認められ、推薦を受けている者

2. 選考方法

商学・経済学

- (1) 書類審査および論文審査
- (2) 口述試験（出願書類に基づいて行う）

国際文化

- (1) 書類審査 志望理由書・研究計画書に基づいて行う
- (2) 面接 出願書類に基づいて行う

社会福祉学

- (1) 書類審査
- (2) 面接

3. 試験科目・試験時間

（商学・経済学、国際文化、社会福祉学）

科目	試験時間	
面接	9:30 ～	1人 15分程度

4. 出願書類および留意事項

必要書類	留意事項	商・経	国	福
入学志願票 [本学所定用紙M-1]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。	○	○	○
受験票・写真票 [本学所定用紙M-2]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。	○	○	○
志望理由書 [本学所定用紙M-3]	志望の理由を詳しく記入してください。	○	○	○
研究計画書 [本学所定用紙M-4]	研究計画を詳しく記載してください。	×	○	○
推薦書 [本学所定用紙M-5]	所属学部教員からの推薦書。	○	○	○
成績証明書	大学学部の成績証明書。発行日が出願前3ヶ月以内のもの。	○	○	○
卒業見込証明書	大学学部の卒業見込証明書。発行日が出願前3ヶ月以内のもの。	○	○	○
論文等	商学・経済学 〔商学分野〕：論文またはこれに準ずるもの(12,000字程度)及び要旨(4,000字程度)。 〔経済学分野〕：論文またはこれに準ずるもの(8,000字程度)。 国際文化：論文があれば提出してください。 社会福祉学：論文(またはこれに準ずるもの)の要旨(4,000字程度)。	○	○	○
宛名シール	受験票送付及び合否通知送付に使用します。 志願者本人の住所・氏名を明記してください。	○	○	○
外国籍の方	パスポートの写し	○	○	○
	在留カード	○	○	○

※1 写真は出願前3か月以内に撮影した明瞭な写真で、縦4cm×横3cm・正面・上半身・脱帽で背景のないものとし、また、スピード写真によるものは認めません。

飛び級入学試験（商学・経済学）

1. 出願資格

◆ 次に該当する者

2024年度本学第3年次に在学中であり、3年次終了までに、卒業に必要な単位の80%以上を取得する見込みのある成績優秀な者

2. 試験科目・試験時間

科目	試験時間	
専門科目（100点）	9:30 ~ 11:00	志望する専修科目
外国語（100点）	11:15 ~ 12:15	英語（本学で貸与する英和辞典参照可） 商学分野は商学に関する問題 経済学分野は経済学に関する問題
面接	13:00 ~（予定）	1人 15分程度

- 外国語（英語）の試験について、次のいずれかに該当する者は、申請により受験を免除します。
 1. TOEIC（IPテストを含む） 650点以上
 2. 実用英語検定 準1級以上
 3. その他のテストにおいて、上記と同等と認められる場合（出願前に問い合わせること）
 - ※ いずれも試験日を基準に2年以内に取得したものに限りです。
 - ※ いずれの場合も、該当する資格や点数等を証明する書類（合格証書の写し等）を出願時に提出する必要があります。

第3年次在学の志願者に対する事前審査および注意事項

- (1) この試験の志願者については、事前に書類審査を行いますので、下記期日までに成績証明書を大学院事務室に提出してください。

9月入試	2024年 8月8日（木）
2月入試	2024年12月5日（木）

- (2) 事前の書類審査の結果、以下の者については受験を認めないものとし、その旨直ちに本人に通知します。
- ① 3年次終了までに所要単位の取得の見込みがうすい者
 - ② 成績優秀でないと判断された者
- (3) この試験の合格者は大学学部の課程を3年次終了時まで在学後、大学院に入学できますが、大学卒業の資格はなく、中途退学者として取り扱われます。大学卒業を一般的要件とする各種資格試験受験の希望を有する者は、当該資格試験の受験資格の有無について、各自関係機関において確認してください。
- (4) この試験の合格者は3年次の3月末までに、必ず教務課へ「退学願」を提出してください。また、入学後、「在籍証明書」および「成績証明書」を大学院事務室へ提出してください。所要単位を充たしていない場合は合格を取り消します。なお、提出された書類は返却しません。

3. 出願書類および留意事項

必要書類		留意事項
入学志願票 [本学所定用紙M-1]		必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 [※] を貼り付けてください。
受験票・写真票 [本学所定用紙M-2]		必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 [※] を貼り付けてください。
志望理由書 [本学所定用紙M-3]		志望の理由を詳しく記入してください。
成績証明書		大学学部の成績証明書。発行日が出願前3ヶ月以内のもの。
宛名シール		受験票送付及び合否通知送付に使用します。 志願者本人の住所・氏名を明記してください。
外国籍の方	パスポートの写し	氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限の記載、写真の貼ってあるページのコピーを提出してください。
	在留カード	在留カード（裏面・表面）のコピーを提出してください。

※ 写真は出願前3か月以内に撮影した明瞭な写真で、縦4cm×横3cm・正面・上半身・脱帽で背景のないものとします。また、スピード写真によるものは認めません。

博士後期課程

1. 出願資格

◆ 次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者および2025年3月までに修士の学位又は専門職学位を取得する見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2025年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2025年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2025年3月までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣が指定した者（平成元年文部省告示第118号）
〔大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者〕
- (6) 本大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者
- (7) その他本大学院において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

個別の入学資格審査について

- (6) による出願を希望される方は、出願期間前に、当研究科で出願資格についての審査を行います。詳しくはP.15記載の「個別の出願資格審査について」をご確認ください。

2. 選考方法

- (1) 書類審査および論文審査
- (2) 面接（口述試験）
- (3) 筆記試験

3. 試験科目・試験時間

（商学・経済学）

科目	試験時間	
筆記試験（100点）	9:30 ～ 11:00	英語（本学で貸与する英和辞典参照可） 商学分野は商学に関する問題 経済学分野は経済学に関する問題
面接	11:15 ～（予定）	1人20分程度

- 筆記試験（英語）について、次のいずれかに該当する者は、申請により受験を免除します。
 1. TOEIC（IPテストを含む）680点以上
 2. その他のテストにおいて、上記と同等と認められる場合（出願前に問い合わせること）
 - ※ いずれも試験日を基準に2年以内に取得したものに限りです。
 - ※ いずれの場合も、該当する資格や点数等を証明する書類（合格証書の写し等）を出願時に提出する必要があります。

（国際文化）

科目	試験時間	
筆記試験（100点）	9:30 ～ 11:00	専修科目に応じて選択した外国語
面接	11:15 ～（予定）	1人20分程度

(社会福祉学)

科目	試験時間	
筆記試験 (100点)	9:30 ~ 11:00	専修科目に関する論述試験
面接	11:30 ~ (予定)	1人 20分程度

4. 出願書類および留意事項

必要書類	留意事項	商・経	国	福
入学志願票 [本学所定用紙D-1]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。	○	○	○
受験票・写真票 [本学所定用紙D-2]	必要事項を記入し、写真貼付欄に写真 ^{※1} を貼り付けてください。	○	○	○
志望理由・研究計画書 [本学所定用紙D-3]	志望の理由及び研究計画を詳しく記入してください。	○	○	○
推薦書 [本学所定用紙D-4]	出身大学院の指導教員または勤務先の上司等からの推薦書。 *推薦が得られた方のみ提出してください。	○	○	○
職務経歴調書 [本学所定用紙D-5]	社会人で職務経歴のある方のみ提出してください。	×	×	○
研究業績書 [本学所定用紙D-6]	社会人で研究業績のある方のみ提出してください。	×	×	○
受験科目届 [本学所定用紙D-7]	志望する分野に応じて、科目を選択してください。 日 本 文 化 研 究 : 韓国語、中国語、英語、漢文のうちから 1科目選択/ ただし、外国籍の方は日本語を選択 東アジア文化研究: 専修科目に応じて、中国語または韓国語 英 米 文 化 研 究 : 英語	×	○	×
成績証明書	出身大学院修士課程のもの。発行日が出願前3ヶ月以内のもの。 日本語以外で記載されたものは訳文を添付してください。	○	○	○
修士課程修了または 修了見込証明書	発行日が出願前3ヶ月以内のもの。 日本語以外で記載されたものは訳文を添付してください。	○	○	○
修士論文またはそれに該当する論文(写)1部及び要旨1部	論文が和文または英文以外のものは和訳を添付してください。 要旨は2,000字以内(A4用紙にワープロで作成したもの)	○	○	○
宛名シール	受験票送付及び合否通知送付に使用します。 志願者本人の住所・氏名を明記してください。	○	○	○
外国籍の方	パスポートの写し	○	○	○
	在留カード	○	○	○
長期履修申請書 [本学所定用紙]	※2 必要事項を記入してください。	○	○	○
長期履修を申請する理由 を証明する書類	※2 在職証明書等の証明する書類を提出してください。	○	○	○

※1 写真は出願前3か月以内に撮影した明瞭な写真で、縦4cm×横3cm・正面・上半身・脱帽で背景のないもの
とします。また、スピード写真によるものは認めません。

※2 長期履修を希望する方は、P.15「長期履修制度について」を確認のうえ、出願時に申請してください。

【個人情報の保護について】

熊本学園大学では、出願書類にご記入いただきました志願者の氏名・住所等の個人情報は、入学試験の出願受付、実施、合格発表、さらには入学に至る一連の手續と、熊本学園大学で学生生活を始めるに当たって必要となる書類、お知らせ等の送付及び入学者データの統計処理のために使用いたします。

なお、上記利用目的に必要な範囲を超えて志願者の個人情報を利用することはありません。

熊本学園大学大学院

〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号

TEL : 096-371-8036 (直通)

URL: <http://www.kumagaku.ac.jp/daigakuin/>

E-mail: daigakuin@kumagaku.ac.jp

